

Camponotus vagus

(Scopoli, 1763)

素早く、毛深く、つやのない黒色の大型種で、日に焼けた枯れ木の上を駆け回り、餌場では近所のアリたちを押しのかめます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

22–28 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

巣の中



休眠

5–10 °C

10月–3月



結婚飛行

4月–6月

暑い日、穏やかな天気



働きアリ

6–12 mm

大型働きアリは最大13 mm



女王

14–16 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ2,000匹規模

成長速度：普通



脱走リスク

高い

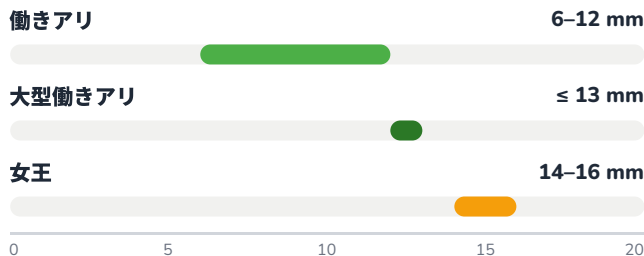
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. 木製の巣
2. Ytongの巣
3. 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

巣そのものの木やコルクを濡らさないでください。代わりに、アウトワールドか試験管に水を置きましょう。働きアリは自分で水を取り込み、湿らせたい場所へ運びます。湿りすぎた巣はカビが生えます。

注意

素早く力の強い登り手で、小さなすき間を跳び越え、やわらかい巣材やプラスチックをかじって穴を開けることもあります。ぴったり合う蓋を使い、連結チューブや接合部を定期的に点検してください。ある飼育者の厚いプレキシガラスの蓋は、湿度の高いアウトワールドで縁が反ってしまい、密閉できなくなったほどです。